

各位

上場会社名 株式会社 シー・ヴィ・エス・バイエリア
 代表者 代表取締役社長 泉澤 摩利雄
 (コード番号 2687)
 問合せ先責任者 常務取締役CIO 管理本部長 上山 富彦
 (TEL 043-296-6621)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成25年4月5日に公表した平成26年2月期第2四半期(累計)業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,460	195	186	128	2.59
今回修正予想(B)	15,461	133	174	148	3.02
増減額(B-A)	1	△62	△12	20	
増減率(%)	0.0	△31.8	△6.5	15.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年2月期第2四半期)	12,797	△381	△427	△404	△8.20

平成26年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,110	115	122	103	2.09
今回修正予想(B)	12,090	24	84	80	1.64
増減額(B-A)	△20	△91	△38	△23	
増減率(%)	△0.2	△79.1	△31.1	△22.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年2月期第2四半期)	9,545	△463	△499	△434	△8.81

修正の理由

個別業績において、JR京葉線市川塩浜駅前で運営するビジネスホテル事業が、レジャー需要の増加により前年比22.1%増と好調に推移いたしました。主力事業であるコンビニエンス・ストア事業の売上高が、8月度の既存店売上が前年割れとなるなどやや苦戦し、期初に想定した売上を小幅ながら下回る結果となりました。また、販売商品構成比が期初想定と相違したことから、営業総利益は予想を下回るほか、前期に出店した複数の新規店舗が採算ベースに乗らなかったことから、利益を大きく圧迫する結果となり、営業利益は期初予想値を大幅に下回る見通しです。

一方、営業外費用において投資不動産管理費用が減少したほか、競合状況の変化を考慮し今期の閉店店舗を見直した結果、店舗閉鎖損失金額が前期に引当てた金額を下回る見込みとなったことによる戻入益を特別利益として計上することから、経常利益、純利益の予想比減少率は営業利益と比較し縮小する見込みであります。

連結業績については、連結子会社2社の業績は順調に推移しているほか、特別利益として投資有価証券売却益を計上することから純利益は予想を上回る見通しです。

なお、通期の業績予想につきましては、平成25年10月7日に予定しております第2四半期累計期間決算発表時にお知らせいたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。